



## 国際会長：

コシムテスワ博士、MPH PhD、RN - エスワティニ王国

## 事務総長

ダイアナ・ルジカ、MSN、RN - 米国

## 財務マネージャー

モボランレ・オンウピコ、RN、RM

ナイジェリア

## 国際教会補佐官

ケネス・スリーマン神父、MM (RN)

日本

## アフリカ地域社長

ロザリン・オコボ、FCP、MHPM、

RN - ナイジェリア

## アジア地域社長

フランシスカ・マランティン、RN - マレーシア

## ヨーロッパ地域社長

マルゴルサタ博士 (ゴシア)

ブリュクチンスカ博士、RN、OCV

イングランド

## パンアメリカン地域会長

マリアン・ノワック博士、DNP、MPH、RN、

FAAN - 米国

## 倫理委員会委員長

ジョイス・アスフィさん、BNSC、MPH、

FWACN、RN - ナイジェリア

## 家族委員会委員長

Sr. Cecilia Adache、OSF、RN、MPH、

CFCP、CFCE - ナイジェリア

## 助産師委員会委員長

CINGO代表

アン・カビムバ博士 (PhD、RN/M)

ケニア

## 専門委員会委員長

ステラ・チスンカさん、BSc、MSc、RSCN、

RN - ザンビア

## 規則委員会委員長

Jane Buncuan 氏、BNSC、MNsg、RN -

マレーシア

## 国連代表 (UN/DGC/ECOSOC/UNICEF)

パトリシア・セイヤーズ博士、DNP、RN

アメリカ合衆国

## クレッシェンド代表

ベアトリス・ヴァン・ドーサー氏、BN、RN

オランダ

## 国際医療社会カトリック・デ・アシスタント委員会

国際カトリック看護師・医療社会福祉士委員会

春

2023

## 国際会長のデスクから International President's Desk



CICIAMSの4つの地域から集まった親愛なる兄弟姉妹の皆様、イースターを祝う特権と栄誉を改めて賜りましたことを大変光栄に存じます。私たちの信仰にとって非常に重要なこの季節を祝うにあたり、少し時間を取ってこの日の意味について深く考えたいと思います。私たちキリスト教徒とカトリックの医療従事者にとって、イースターは死に対する生の、絶望に対する希望の究極の勝利を象徴するものです。イエス・キリストの復活と、それがもたらす永遠の命の約束を

祝う時です。

これは、医療従事者としての私たちの使命は、状況にかかわらず命を守ることであり確認でもあります。

私たちは、科学の進歩と人権擁護の訴えによってもたらされる、生命への課題と脅威を認識しています。私たちは、中絶の脅威に直面する胎児の生存にとって、唯一の希望であり続けます。若者が生命倫理とカトリック教会の教えを理解できるよう、正しい情報で私たち自身を養うために、全力を尽くしましょう。

暗く不確実性を感じがちな世界において、イースターのメッセージは、常に希望があることを私たちに思い出させてくれます。どんな困難に直面しても、神が私たちと共にいてくださり、神の愛と恵みが私たちを導いてくださることを信じることで、私たちは力と慰めを見出すことができます。私たちは権力と支配者たちと戦い続けますが、永遠の戦いはすでに勝利したという確信をもって戦い続けます。

家族や友人と共にこの喜びに満ちた機会を祝うにあたり、イースターの真の意味を思い出しましょう。信仰、希望、そして愛に満ちた人生を送るという決意を新たに、私たちを取り巻く世界に良い変化をもたらすために共に努力しましょう。

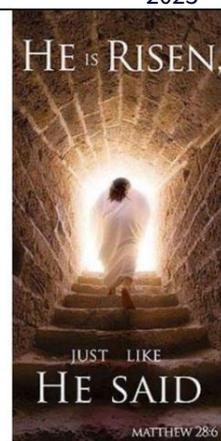
今日は、生が死に勝利し、善が悪に勝利し、美が勝利したことを祝う日です。醜さよりも秩序を、混沌よりも秩序を。

イースターの平安と祝福が、あなたとあなたの愛する人々と共にありますように。あなたとご家族の皆さまに、祝福に満ちたイースターをお祈りいたします。神が一年を通して皆さまを祝福し、お守りくださいますように。神が皆さまに真の命の使者となるために必要な信仰を与えてくださいますように。医療サービスのあらゆるレベルで職務を遂行する中で、神の愛と知恵が常に私たちを導いてくださいますように。

私たち全員が、2024年8月にケニアのナイロビで開催される会議に向けて準備を進めていると信じています。私たち全員を迎える準備をしているケニアのチームのために祈ることを忘れないでください。

ありがとう、そして神のご加護がありますように

コシムテスワ博士、MPH、PhD、RN



## CICIAMSの国際MS' International 教会補佐官tical Assistant

2023年8月1日に米国ペンシルベニア州で開催されたCICIAMS総会において、加盟協会の会長またはその代表者は満場一致で、ケネス・G・スレイマン神父に次のように要請しました。



MM は国際教会補佐官として奉仕します。

スレイマン神父は日本でメリノール宣教師として、北海道札幌市東区の天使大学で倫理学、英語、キリスト教の基礎を教えています。

ケン神父はこう語った。「看護師であることはこれは、イエスが他者を思いやる姿、そして苦難の時に人々を支えた母マリアに倣うための方法です。個人的には、保育室で私が生

まれてから数時間後、赤ちゃんケンが緑色に変色しているのに気づき、夜中に産婦人科医のアンダーソン先生に電話して様子を見てくれた、洞察力に優れた看護師のスミスさんに感謝しています。母の血液型はB型マイナスで、私の血液型はB型プラスだったため、緊急輸血が行われ、命が救われました。

したがって、私の看護師としてのキャリアは、スミス看護師への恩返しであり、看護を通して人々の命を救うという使命を継承していくための手段です。ベトナム戦争がきっかけで、高校卒業後は戦時中、負傷した兵士や民間人の看護に携わる看護師を選びました。しかし、卒業する頃には戦争は終結し、ニューヨーク市の有名な病院で癌と闘うという新たなキャリアの道を選びました。最終的に、ニューヨークの癌患者、そして韓国のハンセン病患者の苦しみ、勇気、そして信仰に接したことにより、私は聖職者へと導かれ、信仰、希望、そして愛というツールを用いて、人々の精神的苦痛と精神的回復にも寄り添うことができるようになりました。看護師として48年間、そして聖職者として32年間のキャリアを経て、私は国際的な人間になったと感じています。米国、韓国、インド、イスラエル、イタリア、そして日本に住んだ経験があり、医療の役割と信仰生活における文化の重要性を理解しています。私のキャリアのこの時期に、CICIAMSの素晴らしい活動を通じて人々の身体、心、魂を癒すというカトリックの看護師としての共通の使命を祝うために、神に奉仕するために自分自身を捧げることは、大きな謙虚さと大きな誇りです。」

ローマで行われた最近の CICIAMS 執行委員会の会議を締めくくる聖なるミサで、MM のケネス・スレイマン神父は、執行委員会の各メンバーに、キリストと CICIAMS のために出かけて働くようにとの宣教師の十字架を与えました。

## 神の慈悲の日曜日day 2023年4月16日

[神の慈悲の日曜日に]告解し聖体拝領を受ける魂は、罪と罰の完全な赦しを得るでしょう。

聖マリアへの一連の啓示の中で

1930年代にファウステyna・コヴァルスカが列聖された際、主は復活祭後の日曜日に特別な祝日を設けるよう命じられました。今日、この祝日は「神のいつくしみの日曜日」として知られており、2000年4月30日の聖ファウステynaの列聖式において、教皇聖ヨハネ・パウロ2世によって命名されました。

主は御心を表明されました

この祝祭に関して、聖ファウステynaへの最初の啓示の中で、イエスは次のように語っています。最も包括的な啓示は、彼女の日記699節にあります。

娘よ、私の計り知れない慈悲を全世界に伝えなさい。慈悲の祭日が、すべての魂、特に貧しい罪人たちの避難所、安息の地となることを私は願う。その日、私の優しい慈悲の深淵が開かれる。私の慈悲の源に近づく魂に、私は恵みの海を注ぐ。



告解に行き、聖体拝領を受ける魂は、罪と罰の完全な赦しを得ます。その日、恵みが流れ込む神聖な水門がすべて開かれます。たとえその罪が緋のように赤くなくても、私に近づくことを恐れてはなりません。

私の慈悲は非常に大きいので、人間であれ天使であれ、いかなる心も永遠にわたってそれを理解することはできません。存在するものはすべて、わたしの慈悲の深淵から生まれた。わたしと関わるすべての魂は、永遠にわたってわたしの愛と慈悲を思い描くだろう。慈悲の祭典は、わたしの優しさの深淵から生まれた。復活祭後の最初の日曜日に、この祭典が厳粛に祝われることをわたしは望む。人類は、わたしの慈悲の源泉に目を向けるまで、平和を得ることはできないだろう。

聖ファウステynaは、この祭りに対するイエスの望みに関する啓示を全部で14件記録しました。

しかしながら、「神の慈悲の日曜日」は、聖ファウステynaの啓示のみに基づいた祝祭ではありません。実際、聖ファウステynaを主たるテーマとするものではなく、全く新しい祝祭でもありません。復活祭第二日曜日は、復活祭八日間[1]として既に厳粛な祝日となっていました。しかしながら、「神の慈悲の日曜日」という名称は、この日の意味を明確に示しています。—



## CICIAMS執行委員会 Board Meeting

2023年2月18日～19日、イタリア、ローマ Italy

CICIAMS理事会は、CICIAMS規約の規定に基づき、2月18日と19日にイタリアのローマで会合を開きました。会合はいつものように、トラステヴェレのサンタ・マリア教会にて、典礼委員会（ゴシア・プリクチンスカ博士（PhD、RN、OCV）とケン・スレイマン神父（MM））の手配によるミサの聖なる犠牲の儀式で始まりました。



これは、執行委員会メンバーの何人かが出席できた初めての会議でした。自己紹介が行われ、グループはその後の2日間の多忙な日程に向けて準備を整えました。



CICIAMSは現在、ほぼ全額を会員の会費で賄っているため、予算の制約により、各理事のローマ渡航費は一部しか支払われませんでした。そのため、CICIAMSの財政的安定を確保するための助成金と活動が議題の重要事項となりました。CICIAMS執行委員会は、教皇財団への2つの助成金を準備することを決議しました。1つは、家族委員会委員長のセシリア・アダチェ修道女（OSF）が率いるナプロテクノロジーに関する看護師の研修のためのもので、もう1つは倫理と良心の権利に関するものです。さらに、事務総長は、新たな収入源としてジャストインタイム出版の調査を任せられました。

アフリカ地域会議（GCM 主催） - 2024

CICIAMSアフリカ地域会長のロザリン・オクボ氏は、ケニアのカトリック看護師ギルドがアフリカ地域会議において執行委員会と GCM を主催します。

テーマ：ラウダートシの精神に基づき、保健医療サービスの向上を目指した看護・助産教育の強化  
とシノダリティ

日程：2024年8月5日～9日（月曜日～金曜日）（遠足オプションあり、2024年8月10日）

8月5日 - 執行委員会（EB）

8月6日 - 総会（GCM）

8月7日 - 開会式、基調講演、  
1～2枚の論文

8月8日と9日 - プレゼンテーション

8月10日 - 出発または遠足

会場：ケニア金融研究学校（収容人数100名）、近隣ホテルも追加予定。

総会の詳細：

CICIAMS GCM（国際医薬・食品安全委員会）はCICIAMSの最高統治機関であり、執行委員会全体と各国協会の会長またはその代表者で構成されます（第8条）。GCMは2年ごとに世界大会およびいずれかの地域大会で開催されます。

加盟協会は、総会において各協会の会長または会長代理によって代表されます。会長または会長代理には、各協会の会員1名または複数名が同席できますが、その人数は4名までとします。各会員は発言権を有します。その他の会員はオブザーバーとして出席できます。各協会の正式な代表に任命されていない執行委員会メンバーは、オブザーバーとして総会に出席し、発言権を持ちます。正会員である加盟協会は投票権を有します。会員数が1,000名を超える加盟協会は、2回目の投票権を有します。

\*\*\*VISA - ケニアへの旅行にVISAが必要な場合は、早めに申請してください。

2024年に以下の役職の選挙が行われます。

国際会長（2024-2028）

財務マネージャー（2024～2028年）

地域会長：アフリカ（2024～2026年、その後4年間の任期が再開）/アジア（2024～2028年）、ヨーロッパ（2024～2028年）/パンアメリカ（2024～2028年）

委員長：倫理（2024-2026、その後4年間の任期が再開）、助産師（2024-2028）、専門職（2024-

2028年）、法令（2024～2026年、その後4年間の任期が再開）

国連代表（UN/DGC/ECOSOCおよびUNICEF）（2024～2028年）。

\*\*\*候補者は、履歴書、全国会長の署名入り推薦書、そして自身のビジョンと役割の遂行方法に関する簡単な説明をご提出いただく必要があります。発表は2024年1月に行われます。

#### 執行委員会による追加措置

1. ケン・スレイマン神父のCICIAMSへの参加に資金を提供してくれたメリノール宣教会管区長に感謝の意を表す手紙を送るよう事務総長に指示した。
2. 2023年5月12日の国際看護師の日に国連で年次表彰式を主催するため、世界的な影響力を持つ看護師との拘束力のない戦略的提携を承認しました。この協定は、式典終了後、2023年9月に再度署名される前に見直されます。
3. ニューヨーク市の国連で開催される NWGI 昼食会に基調講演者の一人として Khosi Mthethwa 博士が出席するための資金援助を承認。
4. 2023年6月22日に開催される信徒、家族、および生活のための部局の年次総会議長会議にCICIAMSを代表するKhosi Mthethwa博士への資金提供を承認しました。
5. 未成年者および脆弱な成人の保護に関する方針を倫理委員会に審査のため付託し、リビジョン
6. 地域会長に対し、助産師委員会委員長でありカトリック系NGO (CINGO)代表のアン・ワウイレ・カビムバ博士に連絡組織のリストを提供し、CINGOへの報告書に添付するよう要請した。
7. メアリー・ドラン氏に代わって、ダイアナ・ルジカ氏が IOR の法定代理人として承認されました。
8. 事務局長は、メンバーに送信する内容を規定するポリシーを策定するために MailChimp メッセージおよび倫理委員会を設立します。
9. ウェブサイト管理者は、家族、助産師、専門委員会と協力して、会員のみがアクセスできる教育ビデオのウェブページを作成します。
10. クレイトンモデル不妊治療システムとナプロテクノロジーの看護師教育のための教皇財団助成金を策定する家族委員会の委員長
11. ケン・スレイマン神父は、マリアン・ノワク博士著『心・体・魂のハンドブック』をCICIAMS内での共有の可能性について検討する。理事会は、会員向け出版物の適切な共有方法について協議する。
12. セシリア・アダケシニアとアン・ワウイヤ・カビムバ博士は、メンバー向けのウェビナーを作成します。
13. 倫理・家族委員会は、安楽死の真実に取り組むプロジェクト/助成金の設計に協力します。
14. CICIAMS倫理委員会は、倫理ガイドラインの改訂を継続する。地域会長は、地域内での異文化への適用性を検討し、その後、これを様々な言語に翻訳する。
15. 事務局長、地域会長、家族と助産師委員会委員長 - 各委員会に関連する問題を提起するために各加盟協会からメンバーを特定するよう要請した。
16. すべての国で良心保護法の導入を推進する。
17. 事務総長は新任役員向けのオリエンテーション ウェビナーを企画します。
18. 2024年にGCMへの第2回国連チーム派遣に関する議論を議題に上げた。

19. 地域会長は、高齢者介護に関連して看護師が直面する問題について情報を収集し、2023年4月にパリで開催されるクレッシェンド会議に向けてベアトリス・ヴァン・ドルサーに提供するよう要請した。
  20. CICIAMSアフリカ地域会長はCNG-ケニアと協力して、地域会議などの予算を早急に用意し、スケジュールを確定します。
  21. 地域的な取り組みとして、アフリカ地域大統領は、アフリカの女兒へのナプキン支給を支援するための資金を獲得する - 衛生と女兒キャンペーン。
- 財政健全性を維持するために、執行委員会は以下の事項を決議しました。
22. 財務管理者とウェブサイト管理者に、CICIAMSウェブサイトへ寄付タブを設置するよう指示した。
  23. ウェブサイトやニュースレターに遺贈による寄付の要請を掲載します。
  24. 財務マネージャーとウェブサイトマネージャーに、ウェブサイト上でクレジットカードによる年間料金の支払いを行うシステムの構築を依頼しました。
  25. ゴシア・ブリュクチンスカ博士は、収入を得るために看護師の良心の検査をCICIAMSで出版することを申し出ました。

26. 事務総長はケン神父と協力して収入のためのさまざまな小冊子（ロザリオのパンフレット、さまざまな言語での CICIAMS の祈りなど）を作成するよう命じられました。
27. 事務局長は寄付の手紙を作成する。各理事会メンバーは潜在的な寄付者のリストを提供する。
28. ケン神父とアン医師は、看護師が滞在できるローマの住宅の購入について調査する。
29. Gosia Brykczynska博士がヨーロッパのメンバーと料金表について話し合う。

-----

## 2023年イースター徹夜祭 説教からの抜粋 教皇フランシスコの

…夜が更け、夜明けの光が地平線に差し始める頃、私たちはイエスの墓へと向かった… 墓に到着し、空っぽの墓を見ると、彼女たちは引き返した。墓を後にし、弟子たちのところへ走って行き、進路変更を告げた。イエスは復活し、ガリラヤで彼らを待っているのだ、と。

兄弟姉妹の皆さん、今日は自分自身に問いかけてみましょう。ガリラヤへ行くとはどういう意味でしょうか。二つの意味があります。一つは、高間の囲いを出て異邦人の地へ行くこと（マタイ4・15参照）、隠れ家から出て宣教に心を開き、恐れを捨てて未来へと旅立つことです。もう一つは、そしてこれはとても美しいことですが、原点に戻ることです。なぜなら、すべてはまさにガリラヤで始まったからです。主はそこで弟子たちと出会い、初めて彼らを召されました。ですから、ガリラヤへ行くとは、始まりの恵みに戻り、希望を再生させる記憶、復活した主から授けられた「未来の記憶」を取り戻すことを意味します。

CICIAMS 執行理事会会議後、CICIAMS 国際会長の Khosi Mthethwa 博士 (MPH, PhD, RN) の要請により、理事会メンバーはバチカンの 2 つの主要な部局の指導者と会談しました。

信徒・家族・生活省長官、ケビン・ファレル枢機卿は、法定代理人のフィリップ・ミリガン博士と共に理事会を歓迎しました。ミリガン博士は、2014 年 CICIAMS 規約の改訂版の承認取得に尽力し、2020 年と 2022 年に総会によって行われた修正も承認されました。理事会は、また、ジョン・マケイン神父にもお会いできたことを嬉しく思っています。

教会運動・信徒協会の広報コーディネーター、ジョヴァンニ・ブオンテンポ氏は、ケネス・スレイマン神父が CICIAMS 国際教会補佐官に選出されたことを確認する書簡を教区本部から入手し、教区本部ウェブサイト上の CICIAMS 情報の更新を支援していました。この会合で、ムテトワ博士は、2023 年 2 月 11 日にルルドの聖母の典礼記念日に枢機卿宛下によって署名された、新たに承認された 2023 年規則を手渡されました。彼女はファレル枢機卿に美しい手描きのろうそくを贈呈しました。



ジョバンニ・ブオンテンポ牧師、ダイアナ・ルジツカ牧師、ロザリン・オコボ医師、ゴシア・プリクチンスカ医師、コムテスワ医師、ファレル枢機卿、セシリア・アダシュ卿、ベアトリス・ファン・ドールーサー牧師、ボラ・オンウビコ牧師、ケン・スレイマン牧師、フィリップ・ミリガン医師 - 2023 年 2 月 20 日信徒、家族、信徒のための CICIAMS と外交人生

人間開発促進部。その後すぐに、執行委員会のメンバーは人間開発促進部のトップと会合した。会合の議長は、SMA のアレサンドラ・スメリリ修道女 (秘書) が務めた。

ナムゲラ大司教、クリス・マハル神父、神父らが出席した。ドゥミサニ・ヴィラカティ。ナムゲラ神父は、新たな使命を帯びた省に対し、現在の活動と運営についてプレゼンテーションを行いました。「省の使命は、教皇、司教たち (広義に理解)、そして神の民が、誰一人として排除されることなく、人間の全人的発展を促進することを支援することです (福音宣教勸告、前文 8)。したがって、省のアプローチは、傾聴、対話、熟考を行い、そして、人間の全人的発展に向けた効果的な対応を識別、提案、支援することです。省の活動分野には、不正と不安、経済と労働、被造物の保護、人権、病気、移民、人道的緊急事態、ETC (ETC は、地域教会のあらゆる懸念事項を網羅しています。具体的な事柄の場合もあれば、時間の経過とともに変化する状況の場合もあります。現時点では、年次健康会議の開催は予定されていません。その代わりに、省は対話と支援のために教会全体と連携しています。」



女史。ナムゲラ、ケン・スレイマン牧師、ダイアナ・ルジツカ、ベアトリス・ファン・ドールーサー、ボラ・オンウビコ神父。Chris Mahar, Dr. Khosi Mthethwa, Sr. アレサンドラ・スメリリ、ロザリン・オコボ、ゴシア・プリクチンスカ博士、セシリア・アダシュ修道女、OSF、ドゥミサニ・ヴィラカティ神父 - 2023 年 2 月 20 日 CICIAMS および人間開発促進省

### あなたはカトリックの看護師ですか、それともカトリックの看護師ですか? Nurse?

1935 年 8 月 27 日、ローマで開催された国際カトリック看護師世界会議において、教皇ピウス 11 世はカステル・ガンドルフォに集まった 2000 人の看護師たちに演説を行いました。異教と物質主義があらゆる場所に浸透していることへの懸念を表明した後、教皇は次のように述べました。「ですから、皆さんは何よりもまず、そしてどんな犠牲を払っても、霊性、キリスト教、キリスト教的超自然の精神に満ちていなければなりません。… 私たちは、自分自身が持っていないものを他人に与えることはできません。… そして、皆さんの援助が病弱な人々にもたらすべき宝は、まさに霊性、超自然の宝なのです。」教皇は、看護師が物質的な身体的慰めと専門的な知識を持つことの重要性を指摘しました。しかし、何よりもまず、私たちはキリスト教的超自然を身につけていなければなりません。聖母マリアが推奨する 5 つのカトリックの規律をご紹介します。私たちはこれらを取り入れてみてはいかがでしょうか。

聖書 / 聖体拝領 / ロザリオ / 断食 / 告解 (毎日の朗読) / (毎週日曜日) / (毎月)  
(毎日) / (週 2 回) /

# 地域会長の活躍 = アフリカ地域特集 Featured Africa Region



ロザリン・オコボ夫人  
アフリカ地域会長

ロザリン・オコボ  
アフリカ地域大統領

## アフリカ地域のパフォーマンス

CICIAMSアフリカ地域より愛と平和のご挨拶を申し上げます。皆様にとって2023年が幸せで豊かな年となりますようお祈り申し上げます。NACN-USA2022会員主催の国際会議は、皆様にとって大変充実したものとなりました。大変よく組織された会議で、講演者の皆さんは的確なご講演を、発表された論文は大変教育的で有益なものでした。会長、LOC、そして全米カトリック看護師協会会員の皆様に心よりお祝い申し上げます。

2022年8月1日、大会開会式の前日に開催された総会において、私はCICIAMSアフリカ地域の暫定会長に選出されました。国際会長および加盟国の会長の皆様に、私をこの地域を率いるにふさわしい人物と認めていただいたことに感謝申し上げます。

2022年8月3日に最初の会議を開催し、アフリカ4カ国が出席しました。

会議のハイライト1. 地域執行機関。地域執行機関を構成するため、各国から様々な役職にメンバーが任命されました。

- |                        |                        |              |
|------------------------|------------------------|--------------|
| 1. Regional president: | Rosaine Okoobo -----   | Nigeria      |
| 2. Vice President:     | Buthelezi Gcinile----- | Eswatin      |
| 3. Secretary:          | Dr. Anne Kabimba ----- | Kenya        |
| 4. Public Relations:   | Esther Musonda -----   | Zambia       |
| 5. Financial Manager:  | Thandazile Nxumlo----- | South Africa |

2. CICIAMS委員会メンバー。会長は、各国のCICIAMSの倫理、家族、助産、専門職に関する様々な委員会で活動するメンバーを指名します。

これらのメンバーはCICIAMSの議長に報告します。これにより、議長は各国からの情報を容易に入手できるようになります。この目標は3ヶ月に設定されており、全員が目標を達成しました。

3. 非活動国の活性化:活動国は、近隣の非活動国をフォローアップし、指導する役割を担いました。

この任務は6ヶ月間の目標が設定されており、現在も進行中です。1月末にZoomミーティングを開催し、良い結果が得られることを期待しています。

- |                 |                              |
|-----------------|------------------------------|
| <b>Nigeria:</b> | Ghana, Cameroon, Botswana    |
| <b>Eswatin:</b> | Lesotho, Mozambique, Burundi |
| <b>Kenya:</b>   | Tanzania, Uganda, Rwanda     |
| <b>Zambia:</b>  | Malawi, Namibia, Zimbabwe    |

私たちのコミュニケーション手段はWhatsAppとメールです。WhatsAppグループは非常に効果的です。メンバー全員が積極的に活動し、プラットフォーム上で情報を共有することに積極的です。このプラットフォームを通じて、私たちの細則も配布されました。

私たちは、加盟国全体に広がるいくつかのプロジェクトを提案しました。

1. 子どもや弱い立場の大人の命を守る。
2. 高齢者の介護。
3. 不妊治療/ナプロテクノロジー（不妊症の認識）。

私たちは、これらやその他の既存のプロジェクトを交換し、観察して、国民への影響を確認したいと考えています。

ナイジェリアには訓練を受けた不妊治療の専門家があり、健康教育と妊孕性啓発活動を通して、学生や若い女性のほとんどが月経用の生理用品を購入する余裕がないことが明らかになりました。汚れを防ぐために衣類に頼る若い女性たちにパッドを支給するための協力と寄付者を募集しています。これはアフリカ全土に広げるべきプロジェクトです。「女の子にパッドを」キャンペーン

結びに 経済的

に余裕ができれば、もっと頻繁に会合を開きたいと思っています。会員の皆様は非常に協力的で、活動に意欲的です。神に感謝し、2023年が実り多き年となることを願っています。

ロザリン・オコボ  
アフリカ地域会長

NWGI - CICIAMS アライアンス

第7回国際看護師の日記念式典と表彰式  
代表者ダイニングルーム at the  
国連 United Nations

2022年12月、CICIAMSはNurses with Global Impact, Inc.と非拘束的戦略提携を締結し、2023年に第7回国際看護師の日記念式典を主催する予定です。今年是世界中のCICIAMS会員数名が、2023年5月12日に国連での昼食会で行われるこの名誉ある表彰にノミネートされています。

CICIAMS 国際会長で MPH, PhD, RN の Khosi Mthethwa 博士が基調講演者です。

NWGI創設者およびNACN-USA/CICIAMS会員のデブ・オハラ・ラスコウスキー氏 (RN, MBA, MTS)は、世界中の看護師の活動を繋ぎ、支援し、称えるためにNWGIを設立しました。この活動を通して、看護師たちの並外れた仕事ぶり、医療に世界的な影響を与えるプロジェクトを世に知らしめています。看護師たちの経験とストーリーは、国際看護師デーに国連で開催される年次昼食会で共有され、その後もウェブとソーシャルメディアを通じて永続的に公開されます。昼食会への参加は、bit.ly/nursesday2023 で登録してください。



CICIAMS & Nurses With Global Impact, together with our sponsors, cordially invite you to

**7th Annual Celebration of INTERNATIONAL NURSES DAY 2023**

**HONORING NURSES WORLDWIDE**

**MAY 12, 10AM-2PM**

**Tickets: \$125**

bit.ly/nursesday2023

**DELEGATES DINING ROOM AT THE UNITED NATIONS**

Delegates Dining Room at the United Nations

**INTERNATIONAL SPEAKERS**

**EXHIBITORS**

**NURSE HONOREES FROM AFRICA, ASIA, EUROPE, AND THE AMERICAS**

2.0 CONTACT HOURS WILL BE AWARDED

過去のCICIAMS会員協会受賞者

感動的なストーリーをご覧ください: <https://nurseswithglobalimpact.org/>



2018

Marie Hiriart PhD, JCL, PhD, RN, D, RN, NACN-USA



2020-2021

Marian Novack PhD, DNP, MPH, RN, PN, CSN, FAAN, NACN-USA



2022

Auggy Ndlovulazi, RN, BA, CNG-Eswatini



2022

Lisa Fuchs RN, NACN-USA



## Holy See Mission Internship Program

The Permanent Observer Mission of the  
Holy See to the UN is currently accepting  
**intern applications for Fall 2023.**

Submit your application by:  
Saturday, April 15, 2023

国連のCICIAMs代表であるパトリア・セイヤーズ博士 (DNP,RN)は、米国ニューヨーク市の国連で聖座とこのインターンシップの機会を共有しました。

35歳未満のCICIAMs会員の応募を募集しています。2015年以降、聖座ミッションは37カ国から162名のインターンを受け入れてきました。このインターンシッププログラムは、優秀なカトリック教徒で英語を話す大学卒業生または大学院生に、国連における聖座の多国間活動を支援する経験を積む機会を提供し、カトリック社会教義の光を国際社会の議論にもたらすことを目指しています。

ローマ教皇庁によれば、「これらのインターンは国連における聖座の活動。彼らは様々な国連の会議、カンファレンス、討論に出席し、報告書を作成します。報告書は審査後、バチカンにあるローマ教皇庁の本部に送られます。また、インターンはミッションの会議、レセプション、文化イベントの支援も行います。

インターンシップは毎年3回あります：秋（応募4月1日まで）、春学期（10月1日までに申請）、夏学期（1月1日までに応募してください）インターンシップのポジションは1サイクルにつき8つあります。ミッションは現在、2023年秋学期（2023年8月下旬から12月まで）の応募を受け付けています。

申請手続きにはカバーレターの送付、履歴書、推薦状2通（1通は教師または学術アドバイザー、もう1通はカトリックの牧師またはチャプレン）を、インターンシッププログラム、国連常駐オブザーバーミッション、25 E. 39th Street, New York, NY 10016にそれぞれの締め切りまでに提出してください。郵送した申請書のPDFコピーも、締め切りまでに [office@holyseemission.org](mailto:office@holyseemission.org) に電子メールで送信してください。件名に「インターンシップ応募」とご記入の上、ご応募ください。応募書類の受領と審査後、選考プロセスの第2段階として、国連で議論されているテーマの一つに関するエッセイの提出をお願いする場合があります。

その後、第3段階として、Zoom 経由で面接を予定するか、ニューヨーク地域の場合には対面で面接を予定することができます。

インターンは、ニューヨーク滞在中の住居の手配、ニューヨークとの間への最初の旅費、およびその他の費用を自分で負担する責任があります。

ただし、ミッションでは毎日ミッション オフィスへの往復の旅費を払い戻しており、ミッションでは毎日午後1時15分にスタッフの昼食が提供されます。

ミッションでは、ニューヨーク市内の住居オプション（通常は寮形式）のリストを用意しています。この情報は、インターンが採用された後に提供されます。インターンは、これらの場所に滞在する、別の住居を探す、友人や家族の家に滞在する、あるいはサブリースや短期賃貸物件を探すなど、様々な選択肢があります。

ミッションは、特定のカトリック系大学とフェロシップ・プログラムを設立しました。このプログラムでは、相互に合意した学生または卒業生に対し、ミッションで1学期または1年間フェローとして活動するための住居費と生活費を資金提供します。インターン生がこれらのプログラムに所属していない場合は、グイスコリオン・ブラザーズ・フェロシップに応募できます。VBFへの応募には手続きがあり、インターンは資格を得るために明確な経済的必要性を示す必要があります。この資金は、インターン生がニューヨーク市に滞在し、ミッションのために働いている間の住居費と毎月の生活費に使用できます。

VBF への応募手順は、リクエストに応じてインターン生に共有されます。

詳しい情報はこちら：<https://holyseemission.org/contents/mission/5829deaeef4c7.php>

さらなるお問い合わせやご質問  
ここで回答されていない質問がある場合は、[office@holyseemission.org](mailto:office@holyseemission.org) に電子メールを送信するか、Mark Knestout 神父 (212.370.7885 x127; [mknestout@holyseemission.org](mailto:mknestout@holyseemission.org)) に連絡してください。



国連でCICIAMsを代表するパトリア・セイヤーズ博士、マリアン・ノワク博士、パティ・ステイリー、マリア・アルヴォニオ

## CRESCENDO 人間とキリスト教の高齢化のための世

## 界ネットワーク Christian Ageing

あなたの国では、高齢者ケアに関して看護師がどのような問題に直面していますか？ベアトリス・ヴァン・ドルサー氏は、CICIAMSを代表して「クレッシェンド・インターナショナル・ネットワーク」に所属しています。クレッシェンドは、福音と教会の教え、特に教皇庁信徒評議会の文書「教会と世界における高齢者の尊厳と使命」（1998年10月）と国連高齢者原則（1991年）に触発されて設立されました。



クレッシェンド。

ヴァン・ドルサー氏は、看護師たちにクレッシェンドの最新ニュースレターを読んでもらい、高齢者ケアに関する感想を直接共有するよう依頼しました。各国の看護師たちは、高齢者ケアにおいてどのような問題に直面しているのでしょうか。

(メールアドレス: [globe9@xs4all.nl](mailto:globe9@xs4all.nl))。

ヴァン・ドルサー夫人は、この情報を 2023 年 4 月のクレッシェンド会議に持ち込む予定です。

Crescendoニュースレターを会員の皆様にぜひご共有ください。3か国語で発行されており、[https://www.reseaucrescendo.org/documents-a-consulter/?](https://www.reseaucrescendo.org/documents-a-consulter/?lang=en)

[lang=en](https://www.reseaucrescendo.org/documents-a-consulter/?lang=en)からご覧いただけます。

「神の計画によれば、すべての人間は、その存在の最初の火花から最後のため息まで、成長する生命なのです。」（『キリストフィデレス・ライチ』第48号 - 1988年使徒的勧告）

ヘレナ・マトガ、RN, MA, カトリック・ストワルジシェニエ・ピエレンニャレク1世ポウォジニッチ・ポルスキッチ (KSPiPP)の会員は、福者ハンナの列聖運動の推進に尽力した。

彼女は、Chrzanowska, RN であり、現在は、神のしもべである Sr. Magdalena Maria Epstein, OP (1975-1947) の活動も支援しています。

マリア・エプシュタインは、1909年、貧しい人々の世話と援助を目的とした婦人施し師協会でボランティア活動をしていた際、クラクフで愛徳の娘たちの支援を受けた小さな診療所を運営することを決意しました。この頃、マリア・エプシュタインはクラクフに看護学校を設立するという構想を思いつき、1911年11月5日に開校しました。彼女は設立当初から学校を運営し、14名の初代卒業生となりました。マリアは、教育に愛国心と信仰の精神が根付くよう尽力しました。第一次世界大戦（1914-1916年）で活動が中断されましたが、マリア・エプシュタインは短期間の応急処置/



マグダレーナ・マリア・エプシュタイン修道女

クラクフの卒業生が運営する看護コース

学校は赤十字のボランティアの養成を目的としていました。1916年に学校は再開され、1920年代にはロックフェラー財団の支援を受けて、看護師の教育はヤギェウォ大学に移されました。1930年、マリア・エプシュタインは看護学校の校長を辞任し、ドミニコ会の修道院に入りました。

CICIAMS会員にこのような歴史的知識をお持ちの方がいらっしゃることは、私たちにとって大きな恵みです。ヘレナはポーランドのアーカイブを調べていたところ、1933年にフランスのルルドで開催された国際カトリック看護師協会 (ICIAMS)の第1回世界会議後に、ハンナ・クルザノフスカ師（当時、同誌の編集者）の同僚が執筆した記事を見つけました。記事と翻訳は次のページをご覧ください。

## ソ連占領下の聖人 Soviet Occupation

米国ペンシルベニア州で開催された第21回CICIAMS世界会議において、CICIAMS総会はポーランド・カトリック看護師・助産師協会を歓迎しました。代表団に提出された書簡の中で、公衆衛生学修士 (MPH)、博士 (PhD)、看護師 (RN)のコン・ムテトワ博士は次のように述べています。「2022年8月1日にペンシルベニア州ニューホープのペドラーズ・ビレッジで開催されたCICIAMS総会において、ポーランド・カトリック看護師・助産師協会を国際カトリック看護師・医療社会福祉士委員会の継続会員として満場一致で承認しました。第二次世界大戦とそれに続くソ連によるポーランド占領により、長年にわたり連絡が取れなかったことを残念に思っています。連絡を再開できたことを大変嬉しく思います。皆様の積極的な参加を心よりお待ちしております。」

ポーランド看護師・助産師カトリック協会

(Katolickie Stowarzyszenie Pielęgniarek I Położnych Polskich (KSPiPP) の代表者はクリスティナ・スタロスタ夫人、RN、イザベラ・チェヴィルトニア夫人、MA, RN, Mlle でした。

Katarzyna Bialokoz, BSN, RN。

スタロスタ夫人は、アウシュヴィッツの天使として知られる助産師、神のしもべスタニスラヴァ・レシュチェンスカの聖カードを披露しました。

ポーランドの看護師数々が現在、列聖手続き中です。

2022年6月11日、フランスコ教皇聖下は、共産主義政権下で信仰の喪失により殉教した聖エリザベト修道女10名の列福を承認されました。式典は2022年6月11日、

ポーランドのヴロツワフで執り行われ、列聖省長官のマルチェロ・セメラロ枢機卿が司式しました。



STANISŁAWA LESZCZYŃSKA (1906-1974)

2022年秋のニュースレターでは、列福された最初の信徒カトリック登録看護師である福者ハンナ・クルザノフスカ看護師が特集されました。



ヘレナ・マトガ RN, MA

# PIELĘGNIARKA POLSKA

CZASOPISMO POLSKIEGO STOWARZYSZENIA PIELĘGNIAREK ZAWODOWYCH  
 WYCHODZI POD REDAKCJĄ HANNY CHRZANOWSKIEJ I MARJI STAROWIEYSKIEJ

## KOMITET REDAKCYJNY:

M. Babicka-Zachertowa, S. Gołębiana, dr. M. Kacprzak, B. Krakowski, W. Lankajtesówna, M. Mochnacka, H. Nagórska, E. Rabowska, J. Romanowska, J. Suffczyńska, Prof. dr. W. Szenajch, Z. Szienkierówna, S. Schindlerówna, Z. Wasilewska, dr. Cz. Wroczyński, Z. Zawadzka — Warszawa, E. Borkowska, T. Kulezyńska — Kraków, Prof. dr. K. Jonscher, M. Wilkońska, dr. J. Zeyland, J. Zakowska — Poznań, A. Dąbska, A. Mańkowska, dr. L. Węgrzynowski — Łwów, Prof. dr. W. Jasiński, M. Ptaszyńska, Z. Węclawowiczówna — Wilno.

## Międzynarodowy Kongres Pielęgniarek Katolickich w Lourdes od 18—21 lipca 1933 r.

„...Jest w Lourdes jakiś nastrój, którego żadne słowa nie wyrażą, w którym ci, co cierpią, znajdują dziwne ukojenie, dziwną siłę, nigdzie nie spotykana... O tajemnicę tego pytajcie Tej, która żyje tu wśród nas; od Niej uczcie się patrzeć na dusze pod powłoką ciała trawionego cierpieniem, zgnębionego, omdlewającego, któremu powołane jesteście nieść pomoc i ulgę“.

Temi słowy w dniu 19-go lipca 1933 r. w czasie Mszy św. w Grocie wital Jego Eminencja Ks. Gerlier, Biskup Lourdes, przybyłe ze wszystkich stron świata pielęgniarki zakonne i świeckie, należące do Międzynarodowego Związku Pielęgniarek Katolickich.

Dla zacierpienia sił, dla wydobycia z siebie duchowych wartości, które nieraz wskutek nadmiaru pracy gdzieś na dnie duszy tlą się tylko, dla sięgnięcia do źródła wiedzy, nie można było znaleźć lepszego miejsca, niż u stóp Matki Boga, wśród szeregów chorych, wpatrzonych w to Źródło Miłosierdzia.

800 członkiń Związku słuchało w skupieniu słów dostojnego mówcy, który w głębokim ujęciu cierpienia i zrozumieniu zawodu pielęgniarskiego odpowiadał na tłoczące się ciągłe pytania: dlaczego tyle nieszczęścia?

„Wy, które życie w stałym zetknięciu z cierpieniem, wy, które tak łatwo popaść możecie w zwątpienie wobec okropnych spustoszeń, szerzonych przez choroby — posłuchajcie „Pani“ (la Dame), Ona was nauczy, że cierpienie ma w świecie swe znaczenie opatrnościowe, niezastąpione“.

「…ルルドには、言葉では言い表せない雰囲気があります。苦しむ人々は、他のどこにも見出せない不思議な慰めと力を見出します。…この神秘について、ここに、私たちの間に住まうルルドに尋ねてください。肉体の殻の下に隠れ、苦しみに苛まれ、落胆し、衰弱し、そしてあなたが助けと安らぎを与えるよう求められている魂を、ルルドから見てみましょう。」

1933年7月19日、グロットでは、ルルドの司教ジェルリエ神父が歓迎した。世界中から集まった修道士と一般の看護師が、国際カトリック看護師連合。過重労働によって魂の奥底でかすかにしか感じられない精神的な価値を自分自身から引き出し、知恵の源泉に到達するには、この慈悲の泉に目を留める病人たちの列の中で、神の母の足元以上に良い場所はないでしょう。

協会の800人の会員は、苦しみへの深い理解と看護専門職への感謝の気持ちを持ちながら、「なぜこれほど多くの不幸があるのですか？」という常に差し迫った疑問に答えたこの著名な講演者の話に熱心に耳を傾けました。

「…苦しみと常に接して生きているあなた、病気によって引き起こされる恐ろしい惨状を目の当たりにして、いとも簡単に疑念に陥ってしまうかもしれませんが、聖母マリアに耳を傾けてください。苦しみはこの世において、摂理的な、かけがえのない意味を持つことを、聖母は教えてくれるでしょう。」



UCZESTNICZKI MIĘDZYNARODOWEGO KONGRESU PIELĘGNIAREK KATOLICKICH PRZED GŁÓWNĄ BAZYLIKĄ W LOURDES.



## CICIAMS公式文書とリンク

\*\*\*新着\*\*\* CICIAMS 2023 規約: <http://www.ciciams.org/ciciamsreports.html>

[ciciamsreports.html](http://www.ciciams.org/ciciamsreports.html)

CICIAMS カトリック看護師のための倫理ガイドラインと実践原則:  
[www.ciciams.org/ethicscommittee.html](http://www.ciciams.org/ethicscommittee.html)

## サン・アンドレ国際センター

## 倫理と誠実さ

ジョゼフ・ウェリー博士 (MA,MMedS,JD,PhD,FACD)は,CICIAMS会員を2023年夏季/秋季倫理セミナーに招待しました。4つのセミナーの中には、ノートルダム

・ド・グレース教会で開催される「医療倫理 - カトリックの視点」 (2023年7月19日~27日)が含まれます。



南フランスのロシュフォール=デュ=ガールにある会議センター。アヴィニョン市から15分の場所に位置しています。センターの目的は、a) 倫理学および関連分野における学術会議や学術コースの開催、b) 倫理学研究のための倫理リソース (物理的リソース (学術文書など)と仮想リソース

(ネットワークなど)の両方)の提供です。センターは、2019年5月6日に米国ネブラスカ州に501c3非営利慈善団体として設立されました。

国際委員会も設置されています。

[www.chateausaintandre.center](http://www.chateausaintandre.center) /または

[info@chateausaintandrecenter](mailto:info@chateausaintandrecenter)



## イベントカレンダー



国際看護師の日 - グローバルインパクトナース協会賞、国連、ニューヨーク市

2023年5月12日 午前10時~午後2時

登録はこちら: [bit.ly/nursesday2023](https://bit.ly/nursesday2023)

教会のモデレーターの年次会議

運動と新しいコミュニティ、信徒のためのディカステリー、ファミリー&ライフ、2023年6月22日、ローマ

医療倫理 - カトリックの視点2023年7月19日~27日

第3回世界祖父母と高齢者の日 2023年7月23日 (7月の第4日曜日、イエスの祖父母である聖ヨアキムと聖アンナの祝日に近い)

ワールドユースデー、ポルトガル、リスボン、2023年8月1日~6日

第109回世界移民・難民の日、2023年9月24日

第7回世界貧困者の日、2023年11月12日

2024年8月5日~9日 - 地域会議 - ケニア\*

8月5日 - 執行委員会

8月6日 - 総会 (全全国

協会/ギルド会長またはその代理人

8月7~9日 - 地域会議

8月10日 - オプション遠足

2026年 - CICIAMS XXII 世界会議 - タイ\*

\*ビザ手続きを早めに始めましょう



## CICIAMS ミッション

§ 1. CICIAMSのミッションステートメント:教会の道徳的および社会的教えに基づき、CICIAMSは次のことを約束します。•国際的に医療従事者を指導および支援すること

により、私たちの生活の中でキリスト教の証しを与える

- 受胎から出産まで、人生に対する前向きなビジョンを育む死
- 他の国内外の団体との活動においてキリスト教と職業的価値観を代表する
- 看護専門職の精神と理想を広めるための会員協会の活動を調整する
- 活動の開始と参加を促進する  
最適なケアと健康の達成に向けた専門的な研究開発
- 他者の宗教的信念を尊重し、その信念を実践する権利を認める



## CICIAMSの目的

- 会員の専門的かつキリスト教的な利益を代表する
- メンバーの精神的な福祉と倫理的価値観の促進
- 健康および社会的な健康対策を推進する  
カトリックの原則と専門能力開発
- 加盟協会間の協力の促進

ニュースをCICIAMS事務局宛にお送りください:

[CICIAMSInternational12@gmail.com](mailto:CICIAMSInternational12@gmail.com)

次回のニュースレターの締め切り :2023年6月15日

毎日豊かに祝福されますようにsed